

にぎわい 147号

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～



島根県 浜田市

浜田港へ飛鳥IIが入港



石見銀山遺跡が世界遺産登録されたこと等により、浜田港へのクルーズ客船の寄港が増加しており（平成20年2隻→平成21年11隻）、今年も8月に飛鳥IIが浜田港へ入港しました。島根県を訪れる観光客の皆さんへ思い出に残る旅のお手伝いをするため歓迎セレモニーの他、特産品販売や浜田市内観光施設へのシャトルバス運行、郷土芸能石見神楽の上演、出港パフォーマンスなどを行い、優雅な船旅を盛り上げています。

ロシアに島根ビジネスサポートセンターを開設

島根県内の官民で組織する「浜田港ロシア貿易促進プロジェクト実行委員会」（委員長：浜田商工会議所会頭、事務局：浜田港振興会）は、ロシア・ウラジオストク市内に昨年「島根ビジネスサポートセンター」を開設しました。「島根ビジネスサポートセンター」は、ロシアへの輸出を検討する日本側企業とロシア側企業との橋渡しをする他、島根県の特産品や観光情報の発信を行っています。

今年6月にはセンターの支援により、地場産品の石州瓦がサンクトペテルブルクへ初出荷されました。



帆船「NADEZHDA(ナジェジュダ)」の浜田港寄港



ロシア・ウラジオストク海洋大学による訓練航海のため、帆船「NADEZHDA（ナジェジュダ）」（2,297トン）が、平成20,21年の2年連続で浜田港に寄港しました。一般公開には2千人を超える市民の来場があり、船上見学やセイルドリル、日本・ロシアの文化交流コンサートの開催、また浜田港滞在中には、市内外の児童・生徒への特別見学が行われ、ウラジオストク海洋大学の学生らも、島根県立大学や江津高校、イルティッシュ号慰霊碑等を訪問し、市民との交流を深めました。



また、「海の日」海洋環境連絡会 21（事務局：浜田商工会議所）が海への関心を高めてもらうために企画した水面効果翼船「あかとんぼ（愛称）」（全長9.3m、全幅6m、旅客定員6名）の試乗会も帆船見学会と同時開催され、最高時速80キロで航行する姿に見学者からも歓声が沸き起こりました。



「あかとんぼ」試乗会



水の都まつえの秋を彩る「松江水燈路」

「松江水燈路」は、松江城周辺をライトアップする光のイベントで、城下町ならではの光と影が織りなす幻想的な風景を楽しむことができます。水燈路の目玉は、一年でこの時だけの「堀川遊覧船夜間運航」です。船上より、風情ある街並みが残る塩見縄手に目をやると、手作り行灯400個がゆらぎ、水面を映しだす「光船」が鎮守の森を照らします。



また、松江城二の丸上の段興雲閣前で開催される「手作り行灯展」はコンテストも兼ねており、今年は市内外から約320点の応募がありました。水燈路開催日には、この行灯にろうそくを灯して幻想的な空間を演出しています。

「松江水燈路」

- ◇日時 9月18日（土）～10月17日（日）の毎週土曜・日曜・祝日
- ◇場所 松江城周辺
- ◇催し物 ライトアップ 各日18：30～21：00 塩見縄手周辺ほか
堀川遊覧船夜間運航 各日18：30～21：00（有料）
手作り行灯展 各日18：30～21：00
展示場所 松江城二の丸上の段
屋台開設 各日17：00～21：00
場所 大手前駐車場
観光施設開館時間延長（有料）各日～21：00
松江城・小泉八雲記念館・武家屋敷



お問い合わせ先：松江市観光振興課 TEL.0852-55-5214

【にぎわい通信：編集・お問い合わせ先】

中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
TEL：082-511-3908